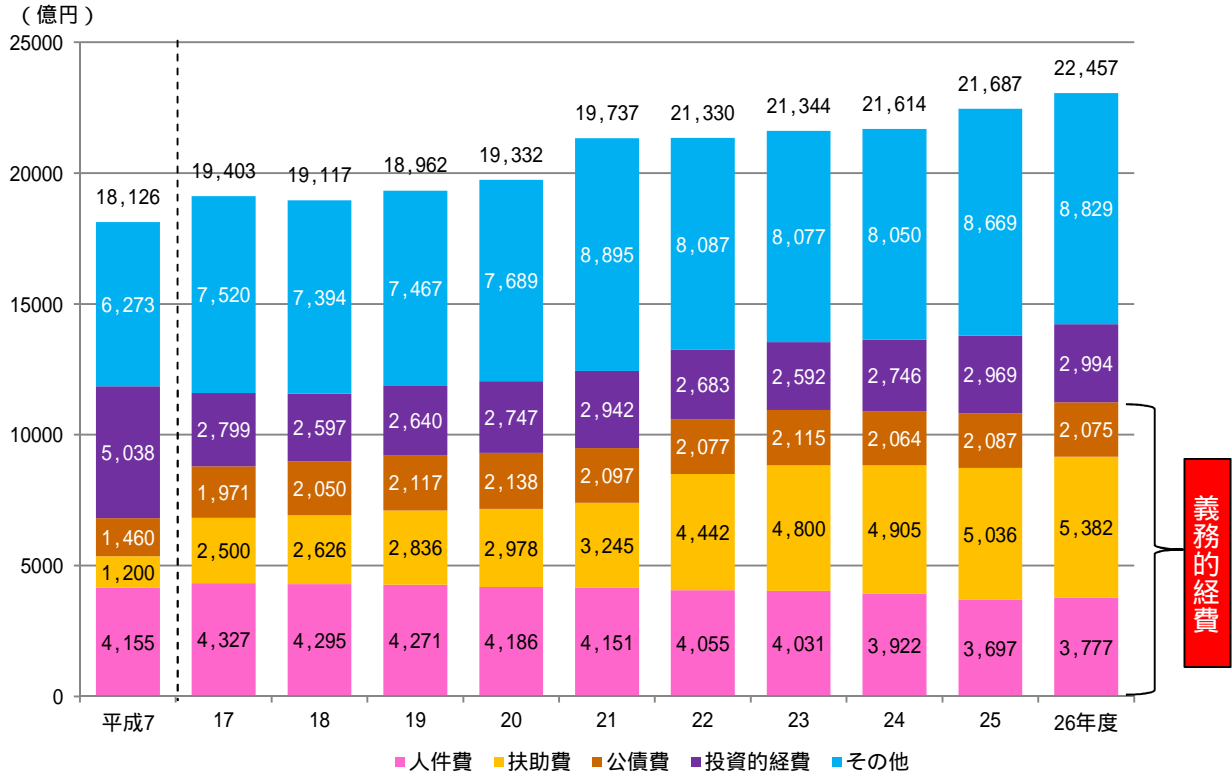


(2) 性質別決算額の推移

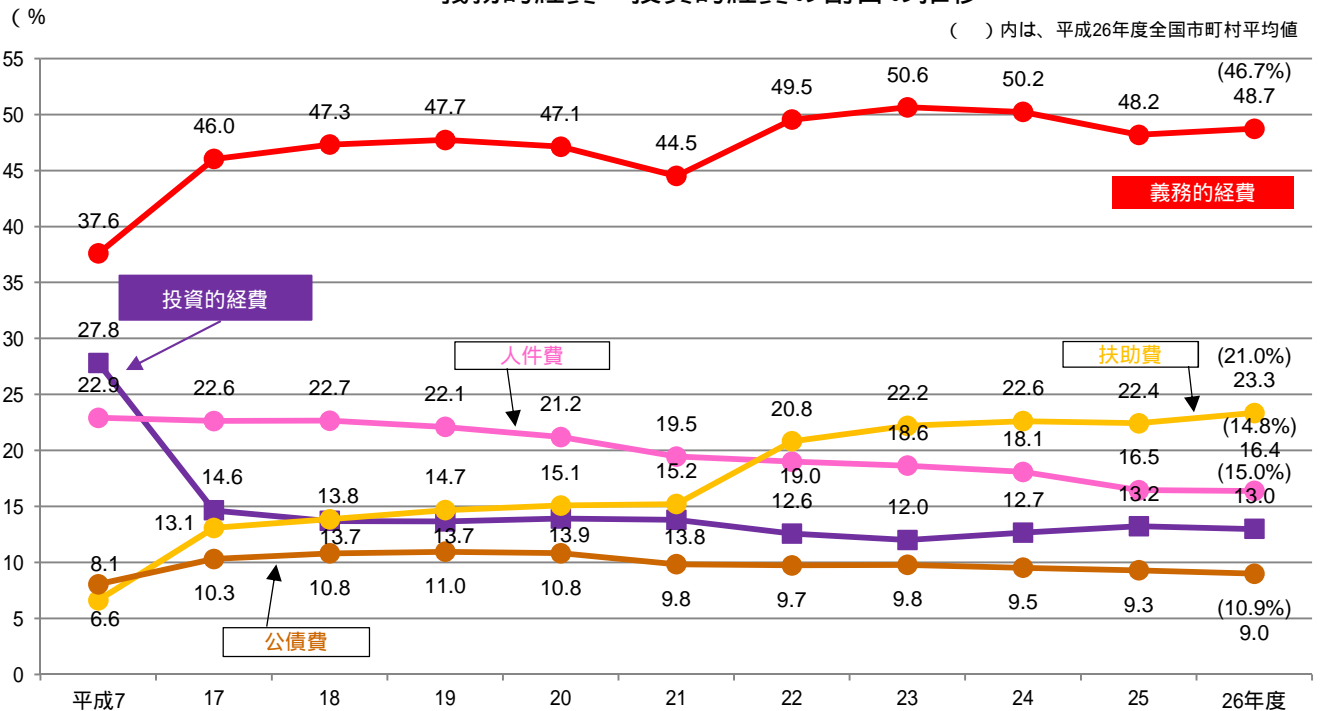
義務的経費は、人件費や扶助費の増加により、前年度と比較して414.8億円増加(+3.8%)し、1兆1,234.1億円となりました。

投資的経費は、前年度と比較して24.7億円増加(+0.8%)し、2,993.8億円となり、歳出に占める割合は、13.0%となりました。

性質別歳出決算額の推移

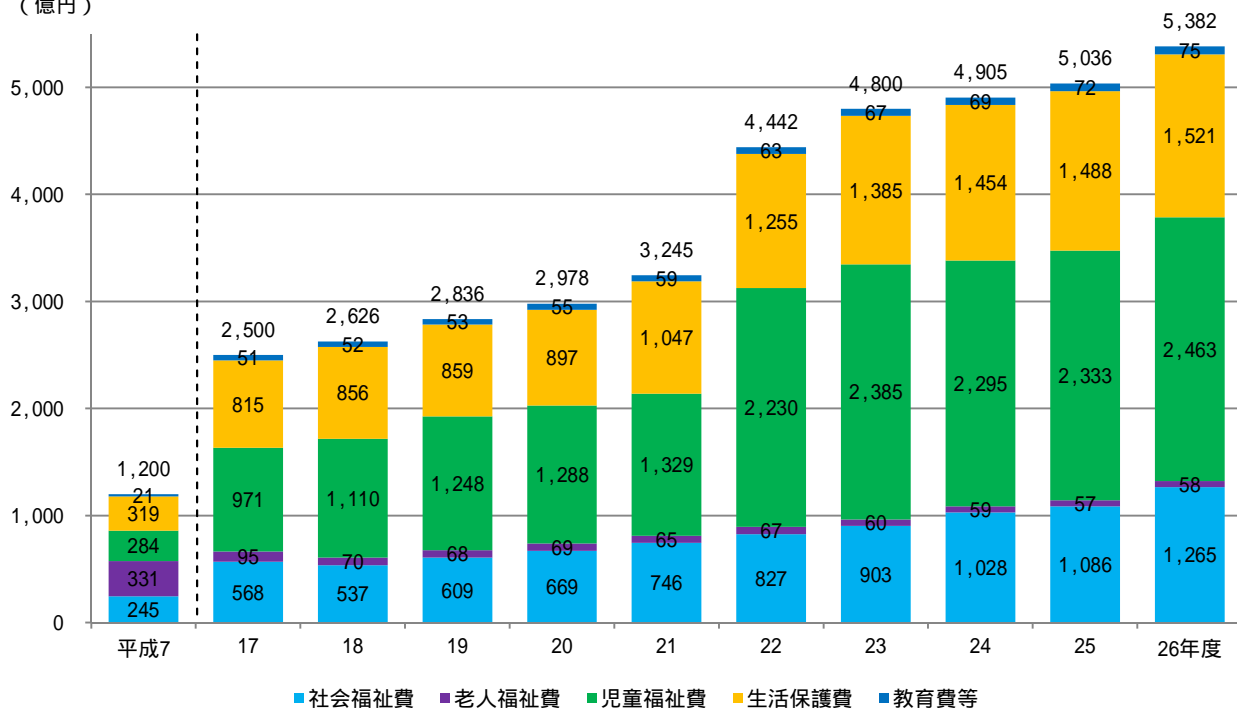


義務的経費・投資的経費の割合の推移



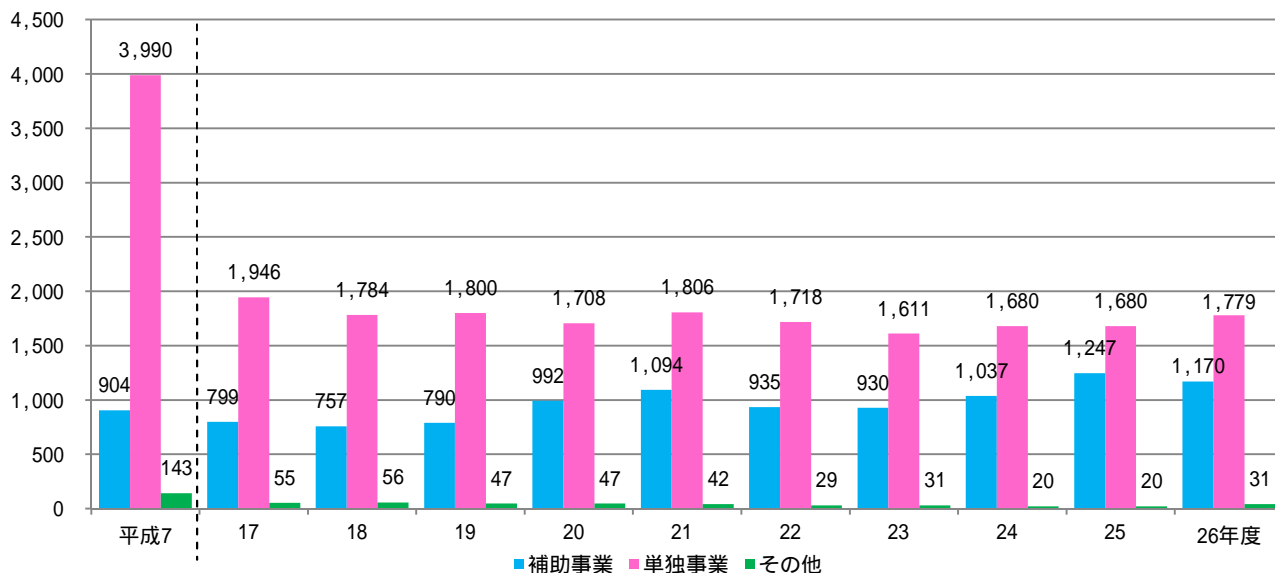
扶助費の決算額の推移

(億円)



普通建設事業費の決算額の内訳の推移

(億円)



- 用語解説 -

義務的経費

「人件費」、「扶助費」、「公債費」が該当します。これらは支出が義務づけられた任意に削減できない経費のため、この比率が大きいほど財政構造が硬直化しているといえます。

投資的経費

「普通建設事業費」、「災害復旧事業費」等が該当します。これらは、支出の効果が資本形成に向けられる経費です、義務的経費に対して、この比率が大きいほど財政構造の弾力性が高いといえます。

扶助費

社会保障の一環として被扶助者に対して支出される経費です。容易に削減、圧縮できない経費のため、財政構造上この比率が低いことが望ましいとされています。

普通建設事業費

道路、橋りょう、学校、庁舎等の施設の新増設等の建設事業に要する投資的経費です。